自立活動（通級による指導）学習指導案

難聴通級指導教室

1　題　　材　　お話をつくろう

2　子どもの実態

	聴　力	言語能力・その他
A児 （1年女）	○　感音性難聴 ・裸耳　右　62.5ｄＢ 　　左　72.5ｄＢ	・　就学と同時に補聴器を装用し始めた。 ・　積極的に周囲の人と話をしたり，かかわろうとしたりしている。また，話を聞くときには相手の顔を見ながら聞くことができる。 ・　難聴にともなう構音障害はみられないが，サ行音を含むいくつかの単語等を誤って使っていることがある。 ・　語い力が十分とは言えない。

3　題材のねらい

４コマの絵を見て，筋やつながりを考えてお話をつくる活動を通して，様子や人物の気持ちを想像する楽しさを感じたり，様子や気持ち，考えたことなどを伝える喜びを味わったりすることができる。

4　本　　時（2／4）

(1)　目　　標

○　４コマの絵を見て，筋やつながりを考えてお話をつくり，様子や気持ち，考えたことなどを伝えることができる。

(2)　展　　開（４５分）

時間	主な学習活動	教師の支援　　評価
(分)	1　始めのあいさつをする。	○　今週のできごとについて話をしながら受け答えの様子を観察することで，聞こえの状態を把握する。
(10)	2　補聴器の点検をする。 （電池のチェック，本体やイヤモールドの汚れ）	○　電池の消耗の程度を確かめたり，一緒に補聴器をきれいに拭いたりして，補聴器を良い状態に保つことが自分で少しずつできるようにする。
	3　ことば遊びゲームをする。	○　今日のお話つくりに出てくる絵を連想できるようなことば遊びをすることで，スムーズに本時の学習に入ることができるようにする。
	4　今日の学習内容について確認する。 ４枚の絵を並べかえてお話をつくろう。	○　紙芝居くらいの大きさの絵を準備し，どんな登場人物が出てくるか質問したり，どんなお話になるかなどを一緒に考えて吹き出しに書き込んだりしながら４枚の絵を提示することで，本時の活動への意欲が高まるようにする。
(30)	5　お話をつくる。 (1)　４枚の絵をどう並べるか話し合う。 (2)　絵に合うようにお話を考える。 (3)　様子や気持ちなどについて話し合う。	○　場面の様子をこれまでの子どもの経験に置き換えて想像したり，登場人物の動きや顔の表情を見て気持ちなどを考えたりしてイメージを更に広げ，子どもの内面の言葉をより多く引き出すようにする。 ○　お話をつくったり，できたお話を声に出して読んだりすることで，発音や言葉の使い方に誤りがある場合は言い直したり意味の確認をしたりする。
(5)	6　今日の学習のまとめをする。	筋やつながりを考えてお話をつくり，様子や気持ち，考えたことなどを伝えることができたか。 ○　今日の学習を振り返って，楽しかったことやよくできたことなどについて話し合い，称賛や励ましの言葉掛けをすることで，今後の活動への意欲を高めるようにする。
	7　終わりのあいさつをする。	